

風通しの良い関係が生まれる緑の校庭

三鷹市立北野小学校



仲光 秀城 校長先生

芝生化して良かったこと、変わったことは

子供たちが芝生の上を思い切り走り回る姿を見るのは、とてもうれしく思っています。この数年、芝生の状態も地域の方とのコミュニケーションも年々良くなってきていると感じています。北野小グリーンクラブという維持管理を行う団体があるのですが、参加いただいている地域の方やスポーツ団体の方、教職員などでメーリングリストを作成して折々の芝生の状態や、活動報告などをこまめに発信していただいています。皆さんが芝生を身近に感じていただくためのツールとして上手く機能していると思いますし、芝生に関わることで教職員や地域の方々の様々な触れ合いが生まれているようで、とても有り難いことだと思っています。



ユニークなエピソードはありますか

芝生に関わる人を親しみの湧くネーミングで呼ぶことにしています。芝刈りなど実際に身体を動かして芝生に関わる人は「芝レンジャー」、朝、芝生の状態を観察する人は「グリーンキーパー」といった具合です。どちらも当番制で、児童と教職員も一緒になって活動しています。なるべく楽しく作業が行えるように、例えば芝を刈った後の袋詰めをゲームにして競争したり、様々な工夫をしています。大人に対しても言えることですが、重い荷物はできるだけみんなで負担しようということで、なるべく一人当たりの負担が少なくなるように考えています。

「我が校の芝生」の自慢を教えてください

卒業式の最後に芝生の上に全員が集まって6年生を送り出しています。芝生の花道ですね。緑の校庭を見た時に是非やりたかったのですが、保護者の方も含め大勢の人が一同に集まると芝生にダメージがあるかもしれないと、なかなか言い出せなかったんです。しかし「校庭芝生はみんなが使うためにあるのだからやりましょう。」という声に背中を押され、今ではやってみて本当に良かったと思っています。子供たちも様々な形で芝生に関わることで、芝生が自分たちの自慢の一つになっているようです。今は、学校と地域にとっても風通しの良い関係が育っています。それに比例するように芝生も非常に良い状態で推移しているので、これを長く続けることができるように頑張っていきたいと思っています。



児童数：562名（平成29年5月1日現在）
芝生化面積：2,590m²
芝生が完成した時期：平成21年度

